# AZUTTO II (アズットII) について②

# 高齢者の心と身体を支える、ウェルビーイング発想の健康器具

アズットⅡでは基本的な片面タイプ6製品と、対面で会話をしながら運動ができる両面タイプ4製 品を揃えた、高齢者の健康寿命延伸を目指した健康器具シリーズとなっています。

### 片面仕様

片面タイプは高齢者にやさしい運動要素と使い方をわ かりやすく表示したサイン板で構成されています。

- 対象は健康志向の高いシニア層
- ●健康寿命の延伸効果を目指した運動要素を選定
- ●使い方サインを見ながら運動できる













### 両面仕様

両面タイプは片面タイプの運動要素を組み合わせて、 1基で2基分の運動を行える仕様となっています。

- ▶ 片面タイプと同じ運動要素の組み合わせとサイン板 で構成
- ●対面式で家族や友人と会話をしながら運動できる
- ●安全領域を小さくでき、省スペースの効果がある
- ●片面タイプを2基導入する場合に比べ、コストの低 減が可能









### 一口コモ予防へのアプローチー

「健康寿命」とは健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活で きる期間のことで、この期間が長ければ長いほど日常生活を快適に過ご すことができます。一方、平均寿命から健康寿命を引いた年数が「日常

生活に制限がある期間 | で、支援や介護が必要な期間となります。この 期間が長い程、日常生活が不便になりますので、いかにこの期間を短く していくかが今後の課題と言われています。

## 健康寿命の状況(令和4年度)

		平均寿命	健康寿命	日常生活に制限がある期間
	男性	81.05年	72.57年	8.49年
	女性	87.09年	75.45年	11.63年
厚生労働省「健康寿命の令和4年値について」(令和6年)の数値を参照して作成				

要支援・要介護 ロコモも要因の

https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001363069.pdf

## ロコモとは

運動器(骨・筋肉・神経等)の障害のため に移動機能の低下をきたした状態を「ロコ モティブシンドローム (略称:ロコモ、和名: 運動器症候群)」といいます。進行すると介 護が必要になるリスクが高くなります。

歩行習慣が少ない現代~将来にかけて ロコモの人口が増えていく危険性

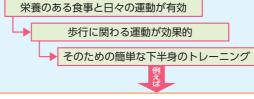
進行すると要介護の可能性

生活の質が低下・家族の負担・医療費

そうならないために

適度な運動で運動器の健康を維持 (ロコモの予防)

## ロコモの予防につなげるために





これらの運動ができる製品を用意しています。(⇒ p.241、p.244~245)

## ATA-0101 (ぶらさがりバー) ¥388,000+消費税



背中の柔軟 肩周りの柔軟



- •W800×D400×H1900
- •35kg

支柱▶アルミ押出形材/アルマイト電着塗装仕上

金物類▶鋼材/カチオン電着、粉体塗装仕上

表示板 ▶ アルミ複合板、インクジェットシート貼り (正面)

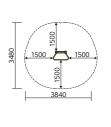
バーを握って体重をかけることで上半身を伸ばすことができま す。地面に足を付けたまま上体を伸ばせるので、握力や体力に 自信がない人も安心してぶらさがり運動を行うことができます。

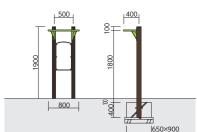




膝を曲げて足を地面に 付けたままぶらさがり

地面から足を離してぶ らさがることも可能





## |ATA-0102 (腰ひねりチェア) ¥516,000+消費税





- •W500×D875×H1500
- •45kg

支柱▶アルミ押出形材/アルマイト電着塗装仕上

金物類▶鋼材/カチオン電着、粉体塗装仕上 ボード類 ▶ 高密度ポリエチレン板 (ノンスリップ加工)

表示板▶アルミ複合板、インクジェットシート貼り(正面)

- ▶各運動の効果には個人差があり、すべての方に同様の結果を保証するものではありません。
- ●掲載価格は全て本体価格+消費税です。製品に関わる運賃・組立費・据付費・基礎工事費等は別途となります。

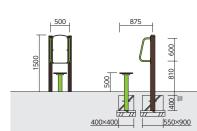
回転する椅子に座って腰をひねる「腰ひねりチェア」。座った まま楽に腰のストレッチを行うことができ、高齢者にやさしい 製品となっています。





バーを握って腰を左右交互にひねるストレッチ





LANDSCAPE PRODUCTS 239